

RRSでコードブルーを避け！

Rapid Response System ハンズオンセミナー

Patient Safety & Quality Improvement

Rapid Response system (RRS)は医療安全全国共同行動の目標に含まれ、予期せぬ院内心停止を減らすと報告されます。米国や英国では標準システムとしてほとんどの病院に導入され、2015年の心肺蘇生ガイドラインでもRRSの有効性について言及がされました。

RRSには“要請側の気づき”と“出動側のスキル”が重要です。今回はRRS未導入施設や導入を進めている施設が対象のセミナーです。

ワークショップとハンズオンを通し、システム導入の実際、RRS対応チームの育成、医療安全推進について理解することを目標とします。

1人でも参加も可能ですが、RRS推進には他職種からなるチームが必要です。参加施設は数人のチームで参加することをお勧めします。

先着24名 参加費3000円

2016年2月14日 日

13時-16時 (集中治療医学会最終日)

会場

伊藤忠メディカルプラザ

兵庫県神戸市中央区港島南町1-6-4

(神戸国際展示場から徒歩10分)

第1部

RRS総論:エビデンス

座学

第2部

対応チームのClinical skill

ワークショップ

第3部

“非”医師が出来る事

ワークショップ

第4部

RRS症例ハンズオン

ハンズオン

お申込みはこちらから

<http://ptix.co/10fAT5b>

お問い合わせ

集中治療医療安全協議会 (CCPAT)

URL <http://ccpat.net/ccpat-net.sakura.ne.jp>

MAIL info@hospital-em.net

インストラクター

聖マリアンナ医科大学 藤谷茂樹

奈良県立医科大学 安宅一晃

北里大学 黒岩政之, 森安恵美, 小池朋孝, 服部潤

東京ベイ浦安市川医療センター 内藤貴基

静岡県立総合病院 青木善孝

大阪市立総合医療センター 川口なぎさ